

輝 継



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 地域の方々の温かい「思い」を感じました！



5月は大型連休でスタートしました。中体連をひかえた中学生にとっては、部活動で忙しかったという人も多かったと思います。真城中学校の校区を散策してみると、真城小の横の川でたくさんの「こいのぼり」が揺れていました。水面に反射して、こいのぼりの数が倍になり、車で通りかかった時に、思わず目を奪われてしまいました。生徒の皆さんも目にした人は多かったはず。この「こいのぼり」を見て、どんなことを感じたのでしょうか？

これだけの数（約100）の「こいのぼり」を準備するのは、本当に大変なことです。準備をしてくださった方々の思いを考えたとき、身が引き締まる思いを新たにしました。この真城中学校の子どもたちが、多くの地域の方々から見守られ、支えられ、そして応援されているのだということを実感しました。

この記事を書くにあたり、代表の田苗さんにお電話をしました。15年間この取組を継続したご苦労や、子どもたちへの思いを熱く語ってくださったのが印象的でした。「ぜひ、18日の体育大会を参観していただき、真城中の子どもたちの健やかな成長を直接見てください。」とお伝えしたところ、「ぜひ！」というお言葉をいただきました。

生徒たちには、自分たちの見えないところ、気づかないところでも、多くの地域の方々が応援し、支えてくださっていると感じ取ってほしいと願っています。また、いつの日か、真城中の子どもたちが「輝継」のスローガンのように、多くの輝きを未来へと受け継ぎ、真城中校区だけでなく、ふるさとの諫早や長崎を支えることができる人に成長することを願っています。まずは体育大会で、たくましく成長した姿を多くの皆様に見ていただきたいと思います。



↑ 体育大会に向けた全体練習（行進）の様子

○ 体育大会に向けた練習3

前のページの行進練習のように、体育大会に向けて学年種目、リレーの練習だけでなく、体育大会全体が成功できるように生徒たちは、一生懸命に練習に取り組んでいます。中でも感心したのが、全校生徒が集めたとき、生徒会の代表生徒が集会の反省や、練習への意気込みをしっかりと伝えていたことです。自分たちの手で「最高の体育大会」を創り上げようとする気持ちが伝わってきました。



また、写真のように各学年の種目の練習にも取り組んでいます。これは、2年生の大縄跳びの様子ですが、こ



のときは、かなり苦戦をしていました。本番までには各クラスで練習を重ね、会場が驚くような回数を飛ぶ

と信じています！昼休みも練習に取り組んでいるので、体育大会当日を楽しみにしたいと思います。

○ 今日の給食（9日）

今日の給食は、魚そうめん汁、鶏肉の竜田揚げ、ホウレン草としめじのソテーでした。竜田揚げはボリューム満点で生徒たちも満足そう



でした。また、今日は雨の関係で少し肌寒だったので、そうめん汁をおいしそうに食べる生徒たちの姿が印象的でした。

5月は、地元諫早で生産された食材を「無償」で提供していただいているメニューがあるそうです。地元諫早の生産者の方々が、小・中学生のために食材を提供してくださっています。最初にも書きましたが、多くの方々が子どもたちを支え、応援してくださっていることに心から感謝したいと思います。本当にありがとうございます。